

静岡県掛川市

「希望が見えるまち・誰もが住みたくなるまち掛川」

掛川市は、持続可能な未来に向けて、地域の歴史を誇り、大切にしながら、未来に向けてチャレンジできるまちをめざしています。

掛川市の地方創生事業を応援していただける企業様を募集しています。
ご協力よろしくお願いたします。

取組①「松ヶ岡修復活用事業」文化・教育

松ヶ岡（旧山崎家住宅）は、安政3年（1856年）に山崎家の住宅として建てられ、明治11年（1878年）には明治天皇が宿泊されたという歴史を持つ貴重な文化財です。

掛川市では、この松ヶ岡を修復して後世に永く伝え、人づくりの場、教養を学ぶ場として活用していきます。

日々の保全活動には、市民ボランティアにも大きな協力をいただいています。

日本で初めて「教養」という言葉が使われたまち掛川で、松ヶ岡の保存活用に協働していただける企業様をお待ちしております。



松ヶ岡長屋門

取組③「粟ヶ岳環境整備事業」環境・農業・観光

粟ヶ岳周辺の東山地区は、茶の一大産地であるとともに、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」が実践され、生物多様性の保全に貢献しています。茶の生産と生物多様性を守るためには、多くの皆様に茶産地の魅力を知っていただき、緑茶を飲んでいただくことが必要です。

現在、粟ヶ岳には、雄大な景色に惹かれて、年間5万人余の方が訪れています。

しかし、その登山口や登山道は、水洗トイレ設備や、道路の安全対策等の環境整備が十分ではありません。誰にでも優しい多目的トイレ等の設置や安全対策等を進め、地域資源をより魅力的にし、皆様に気持ちよくお迎えできる環境整備を推進します。



静岡の茶草場農法と粟ヶ岳

取組②「掛川潮騒の杜事業」安心・安全・防災

掛川市では、南海トラフ巨大地震により想定される最大クラス（レベル2）の津波により浸水被害が想定されていることから、“地震・津波による死者ゼロ”を目指し、レベル2津波に対応した高さに防潮堤を嵩上げし、クロマツや広葉樹を植樹する海岸防災林強化事業「掛川モデル」を、平成26年度より着手しました。

盛り土や植樹などの工事から維持管理までを、市民・企業との協働と、国や県などの事業との連携、協力により行い、次世代を担う若者や子どもたちが集う「掛川潮騒の杜」づくりを推進しています。



潮騒の杜イメージ



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

掛川市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



■ 問い合わせ先

企画政策課 経営戦略室 経営戦略係

TEL : 0537-21-1127 (直通) FAX : 0537-21-1167

E-mail : kikaku@city.kakegawa.shizuoka.jp